

令和2年度 学校自己評価アンケート集計結果

* 質問項目の前の数字は、質問番号である。

* ①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない から選び回答。①②を肯定的意見とみなし分析を進める。

経営目標	質問項目	有効回答数に対する割合			対象	①②の有効回答数に対する割合				R1	H30	各課・学年による分析と対応
		①②	③④	無効		1年	2年	3年	全体			
		1 学校の教育方針を踏まえた教育活動ができています	93%	7%		0%	教員					
1 学校生活は全体的には、充実し、満足している	93%	7%	0%	生徒	94%	93%	93%	93%	91%	89%	全学年を通して、多くの生徒が充実した学校生活を送っていると感じている。	
1 学校の教育方針は伝わっている	77%	23%	0.3%	保護者	78%	75%	78%	77%	83%	74%	今年度はPTA総会も中止となり、学校へ足を運ぶ機会が減ったことも数値が下がった原因と考えられる。	
2 本校での教育活動に、充実感を持つことができています	90%	10%	0%	教員				90%	82%	72%	生徒が落ち着いた学校生活を送っていることが、高い数値に繋がっていると考えられる。	
2 玉野高校に来てよかったと思う	88%	12%	0%	生徒	90%	88%	85%	88%	87%	83%	全体的に年々数値が高くなっているが、90%を越すためには、生徒に達成感や自己肯定感を持たせる取組が必要となる。	
2 子どもを玉野高校に行かせたことに満足している	90%	10%	0%	保護者	91%	92%	89%	90%	95%	86%	ほとんどの保護者が好意的な感想を持っており、今後も維持していきたい。	
3 教室の学習環境整備に努めている	90%	10%	0%	教員				90%	85%	94%	ほとんどの教員が学習環境を整えるよう取り組んでいる。	
3 教室は勉強しやすい環境である	83%	17%	0%	生徒	93%	84%	72%	83%	84%	77%	クラスの雰囲気が数値に影響すると考えられるが、1年生は特に良い雰囲気のもとで学習できている。	
4 自分から進んで挨拶をしている	82%	18%	0%	生徒	83%	81%	82%	82%	81%	80%	HR委員の「先言後礼」の呼びかけにより、授業の挨拶には意識が高まっているが、受け身の生徒が20%ほどいるので、改善していきたい。	
5 学校行事に積極的に参加している	86%	14%	0%	生徒	87%	83%	87%	86%	85%	85%	今年度は、行事が中止や縮小になるなどしたが、多くの生徒が積極的に参加し、充実感を得たことが数字に表れている。	
6 学校行事は楽しく、満足している	92%	8%	0%	生徒	95%	88%	93%	92%	91%	89%		
3 学校行事の内容に満足している	83%	17%	0%	保護者	80%	84%	87%	83%	94%	83%	今年度は、行事が中止や縮小になるなどしたことが影響していると考えられる。	
4 授業でも服装指導・言葉遣いの指導を行っている	93%	7%	0%	教員				93%	88%	91%	ほとんどの教員が意識して取り組んでいる。	
7 服装、頭髪、言葉遣いには気を付けている	95%	5%	0%	生徒	94%	96%	94%	95%	93%	95%	ほとんどの生徒が服装や言葉遣いには気をつけて生活をしているという結果である。自主的に行動できるように今後も呼びかけていきたい。	
5 指導方法を工夫し、分かりやすい授業に努めている	97%	3%	0%	教員				97%	97%	100%	チーム玉野を中心に、授業改善への意識は高まっている。	
8 課題や予習、復習など、家庭学習の目標時間は取れている(学校の授業以外)	62%	38%	0%	生徒	56%	53%	76%	62%	66%	66%	今年は、年度当初にコロナ禍で家庭で過ごす時間が多かったことが影響し、学習に対する意欲を高めるのが遅れたと考えられる。	
4 子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている(塾等も含む)	56%	44%	0%	保護者	53%	54%	64%	56%	60%	55%		
9 進路や将来について自ら考えようとしている	92%	8%	0%	生徒	86%	93%	96%	92%	90%	91%	総合的な探究(学習)の時間での取組や進路講演会等による成果で、ほとんどの生徒が将来を考えているという結果となっている。保護者の数値は年々高くなっており、今後も情報発信に努めていきたい。	
5 子どもは、進路や将来について考えている	86%	14%	0.3%	保護者	85%	82%	92%	86%	85%	73%		
10 学校で困ったことがあったときに、校内に相談しやすい人がいる	85%	15%	0%	生徒	81%	85%	88%	85%	85%	83%	信頼できる教員や友人の存在やスクールカウンセラーが適宜相談を受ける体制が取れていることが数値に表れている。	
6 学校には、子どもが相談できる人や場所がある	82%	18%	0%	保護者	82%	78%	85%	82%	88%	76%		
7 学校からの各種便りから情報を得ている	73%	27%	0%	保護者	80%	69%	69%	73%	79%	76%	2・3年生の数値が特に低いので、生徒への徹底をすとともに、クラスルームを利用して情報を伝えることも今後必須となる。	
6 ボランティア活動に関わりが持てるように指導している	80%	20%	0%	教員				80%	91%	78%	本年度はコロナ禍でボランティア活動の機会がほとんどなかった。その中でも、後半はスチューデントガイドや海ゴミの取組、部活動での地域への貢献などを行った。	
12 社会貢献活動やボランティア活動をした後、「やってよかった」と感じる	86%	14%	0.5%	生徒	80%	85%	93%	86%	83%	85%		
8 玉野高校の生徒は社会貢献活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいる	77%	23%	0.8%	保護者	78%	78%	76%	77%	88%	85%		
11 地域のために役立つ活動をした	63%	37%	0.2%	生徒	40%	64%	84%	63%	92%	92%		
7 教員間のコミュニケーションはしっかり取っている	97%	3%	0%	教員				97%	85%	97%	職員室は、教員同士がコミュニケーションをとりやすい雰囲気がある。コミュニケーションの中で情報交換が活発に行われている。	
9 (自分は)過剰な勤務負担を感じていない	66%	34%	0.3%	教員				66%	70%	50%	業務の精選、平準化など抜本的な働き方改革が必要である。	

アンケート回答率

生徒

	1組	2組	3組	4組	計	在籍	回答率	(R1)
1年	36	34	36	35	141	142	99%	95%
2年	28	30	39	37	134	136	99%	97%
3年	39	34	37	38	148	152	97%	96%

保護者

	1組	2組	3組	4組	計	在籍	回答率	(R1)
1年	36	34	34	35	139	142	98%	76%
2年	28	28	30	29	115	136	85%	67%
3年	30	34	37	13	114	152	75%	93%

教員

88%	100%
-----	------